

大阪教区常置委員会は、下記声明を各所に提出いたしましたのでご報告いたします。

(送付先:在日ロシア連邦大使館、日本政府外務省、在日ウクライナ大使館)

軍備に頼らない、また核のない生き方をしていくために、そしてウクライナでの一日も早い停戦と平和を求めて、各教会・伝道所でも、ぜひ一緒にお祈りください。

在日ロシア連邦大使館気付 ウラジーミル・プーチン大統領殿

## ロシア政府によるウクライナ軍事侵攻に抗議し、即時停戦を求める声明

2022年2月24日ロシア政府がウクライナに軍事侵攻して以来、この戦争により双方の多くの軍人の命を奪い、あろうことか無抵抗な女性、障がい者、未来ある子どもたちの命が奪われていることに強く抗議いたします。また数百万人のウクライナ避難民が故郷を追われ周辺国に流入しており、それまで築き上げられてきた市民の生活が無残に破壊され続けている事態は日々深刻化しております。

今回ロシア軍が侵攻直後にチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所(下線部は以下原発)及びザポリージャ(ザポロジエ)原発を攻撃したことに驚愕せざるを得ません。2011年福島第一原発の核事故を経験した日本は人工放射性核種が特に乳児や子どもに甚大な被ばくの被害を与え、人々が住める国土を失わせ、人類や地球環境に半永久的な核汚染を被らせていくことを身をもって知っています。ウクライナ侵攻での無抵抗な市民へのあらゆる暴力と、原発周辺での軍事行動を直ちにやめさせなければなりません。

神は預言者イザヤおよびミカを通して「彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない」(イザヤ2章4節)とされました。この言葉に絶えず励まされて平和実現のため国を超えて共にあろうと願う私たちにとって今回のウクライナへの軍事侵攻は絶対に看過できません。いかなる理由があろうとも無抵抗な市民を無差別に殺戮することは決して認められるものではありません。直ちに戦闘を停止し、外交的話し合いの手段を精力的に行ってください。

2022年4月11日

日本基督教団大阪教区常置委員会

## ロシア政府によるウクライナ軍事侵攻に抗議し、即時停戦を求める声明

2022年2月24日ロシア政府がウクライナに軍事侵攻して以来、この戦争により双方の多くの軍人の命を奪い、あろうことか無抵抗な女性、障がい者、未来ある子どもたちの命が奪われていることに強く抗議いたします。また数百万人のウクライナ避難民が故郷を追われ周辺国に流入しており、それまで築き上げられてきた市民の生活が無残に破壊され続けている事態は日々深刻化しております。

今回ロシア軍が侵攻直後にチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所(下線部は以下原発)及びザポリージャ(ザポロジエ)原発を攻撃したことに驚愕せざるを得ません。2011年福島第一原発の核事故を経験した日本は人工放射性核種が特に乳児や子どもに甚大な被ばくの被害を与え、人々が住める国土を失わせ、人類や地球環境に半永久的な核汚染を被らせていくことを身をもって知っています。ウクライナ侵攻での無抵抗な市民へのあらゆる暴力と、原発周辺での軍事行動を直ちにやめさせなければなりません。

神は預言者イザヤおよびミカを通して「彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない」(イザヤ2章4節)と言われました。この言葉に絶えず励まされて平和実現のため国を超えて共にあろうと願う私たちにとって今回のウクライナへの軍事侵攻は絶対に看過できません。いかなる理由があろうとも無抵抗な市民を無差別に殺戮することは決して認められるものではありません。直ちに戦闘を停止し、外交的話し合いの手段を精力的に行ってください。

2022年4月11日

日本基督教団大阪教区常置委員会

押印して・・・送付3か所

(送付先：在日ロシア連邦大使館、日本政府外務省、在日ウクライナ大使館)

〒106-0031

東京都港区西麻布3丁目5-31

在日ウクライナ大使館 御中

〒106-0041

東京都港区麻布台2丁目1-1

在日ロシア連邦大使館気付

ウラジーミル・プーチン大統領殿

〒100-8919

東京都千代田区霞が関2-2-1

外務大臣 林 芳正 殿

2022年4月13日  
日本基督教団大阪教区  
総会議長 有澤 慎一

主の聖名を賛美いたします。

別紙、声明を各所に提出いたしました。ご査収の程宜しく願います。